

第 10 回「伝わる文章の組み立て方」

グループワークその 1：次の例文を「明確な指示をする文章」に書き換えてみよう。

想定している場面：あなたは 1 限の科目を担当する教員である。遅れてやってくる学生が目立つので、全員に注意することにした。

例文：なるべく早く起きるようにして、1 限の講義に遅刻しないで出席するようにしましょう。

改定案：

グループワークその 2：次の例文を「自分が助けてもらえる可能性の高いお願い」に書き換えてみよう。

想定している場面：あなたは化学の前期試験で不合格点をとってしまった。ピンチである。しかし、救済処置としての再試験をやってもらえれば、後期も頑張って通年で合格点にたどり着けるかもしれない。そこで化学担当教員に「誠意のこもった」メールを送り、チャンスを与えてもらえるようお願いすることにした。

例文：化学不合格でした。再試はいつですか？ かんたんにしてください。留年すると親に怒られます。たのみます。

改定案：

グループワークその3：次の説明文を「読みやすい」文体に書き換えてみよう。

想定している場面：あなたは北里大学の受験生向けパンフレットに、相模原キャンパスの魅力伝える文章を書くことになった。

例文：臨床実習の場となる北里大学病院や北里大学東病院をはじめとする教育・研究施設が整備されており、総面積 37 万平方メートルという広大な緑に囲まれた、西に丹沢山系を見晴らす相模原台地の一角にある、他学部の学生との交流や友情を育む学生厚生施設も充実し、豊かな人間性と感性を養い心と体をリフレッシュできる理想的な環境の「相模原キャンパス」からは、鎌倉や湘南に約 1 時間でアクセスでき、オフタイムも魅力いっぱいです。

改定案：

学籍コード	氏名	班
-------	----	---

